

## 医 04 整形用品

一般医療機器 カテーテル被覆・保護材 70444000（救急絆創膏 34864000）

再使用禁止

## ナビス フィルムドレッシング

## 【禁忌・禁止】

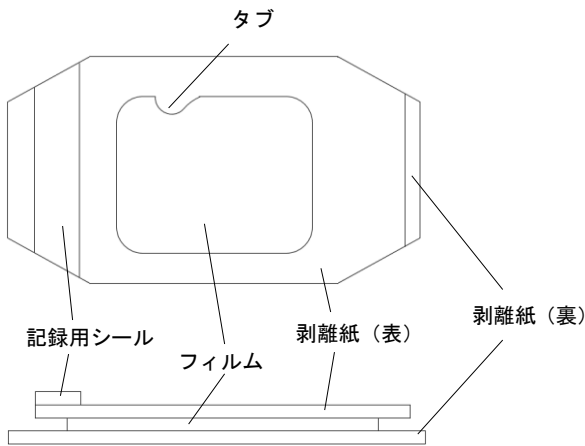
## ＜使用方法＞

- ・再使用禁止。
- ・縫合固定の代わりに使用しないこと。  
[創傷が悪化する恐れがあるため]

## 【形状・構造及び原理等】

## 1. 形状・構造

(代表図)



## 2. 原理

本品は薄いフィルムに、アクリル系粘着剤が塗布されたドレッシング材である。酸素や水蒸気の透過性に優れ、また防水性の透明粘着フィルムは、物理的に外部からの汚染を防ぎ、傷や刺入部を保護する。本品は滅菌済みである。

## 3. 材質

人体に接触する部分の組成：アクリル系粘着剤

## 【使用目的又は効果】

## 1. カテーテル被覆・保護材用途

注射針又はカテーテル刺入部位に直接貼付してその固定に用いる、粘着性を有するフィルム材などの滅菌済み被覆・保護材をいう。

## 2. 救急絆創膏用途

傷の被覆及び保護、傷口の皮膚接合、身体の創傷部位の支持等に用いる、粘着剤を付したプラスチック製の各種形状の絆創膏材をいう。

## 【使用方法等】

## 1. 貼付前

- 1) 本品貼付部を清拭、洗浄し、必要に応じて消毒を行う。清潔にした後、水分を良く取り除く。

## 2. 貼付方法

- 1) 貼付面が乾いていることを確認し、本品の剥離紙（裏）を剥がし、粘着面を出す。
- 2) フィルムの粘着面に手が触れないようにしながら、傷あるいはカテーテル等の刺入部に本品中央を合わせて貼付する。
- 3) 本品を上から押さえ、しっかりと粘着させる。
- 4) 本品を押さえながらタブをつまみ、ゆっくりと剥離紙（表）を時計回りに剥がしていく。
- 5) 刺入部への貼付時は、注射針又はカテーテルに沿ってよく密着させる。
- 6) 本品中央部から端に向かって優しく押さえ、良く粘着させる。
- 7) 記録用シールには日付などを書くことが出来る。

## 3. 除去方法

- 1) 本品の端を丁寧に掴み、皮膚が変形しないように皮膚を押さえ、フィルムに対して 180° の方向にゆっくり剥がす。
- 2) 本品を剥がす際に、カテーテルや他の器具を抜去しないように、また傷の表面が損傷しないように、カテーテルや皮膚を押さえながら注意して行う。
- 3) 本品が傷に固着してしまった場合は、水を浸してゆっくりと剥がす。

## 【使用上の注意】

## ＜重要な基本的注意＞

- ・粘着製品により皮膚障害を起こしやすい方は必ず事前に医師に相談すること。
- ・本品使用中に皮膚障害と思われる症状（発赤、発疹、痒み、水疱、腫れ、表皮の剥離など）が現れた場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し適切な治療を受けること。
- ・本品の使用中は貼付部位をよく観察し、感染の兆候（発赤、膿の浸出、発熱、腫れ、痛み、悪臭など）に十分注意すること。
- ・シャワー浴等ドレッシングやカテーテル穿刺部周囲が濡れた場合は固定性、密着性が保たれているかどうかを確認すること。

## ＜その他の注意＞

- ・本品は開封後、直ちに使用すること。
- ・使用前に包装が破損または汚損等している場合には使用しないこと。
- ・本品を再滅菌しないこと。
- ・粘着力が低下し、剥がれるおそれがあるため軟膏やクリーム等を塗布した皮膚に本品を貼らないこと。必要な場合は医師に相談すること。
- ・貼付前に適用部位の止血を行うこと。
- ・浸出液の多い傷には本品を直接貼らないこと。  
[肉芽の異常形成により治癒が遅延する恐れがあるため]
- ・深い創には本品を直接貼らないこと。
- ・適切なサイズを選択すること。  
本品を創縁から少なくとも 2cm 以上の範囲まで健常皮膚面に密着させることが出来るサイズを選択する。
- ・引っ張って伸ばした状態で貼付しないこと。皮膚障害（発赤、発疹、痒み、水疱、表皮の剥離など）や剥がれの原因となる。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 1. 保管方法

水濡れ、高温多湿、火気や直射日光を避け、清潔な場所で保管すること。

#### 2. 有効期間

使用期限はパッケージに記載。

[自己認証（当社データ）による]

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: アズワン株式会社

TEL: 0120-711-875

受付時間: 平日 9:00~17:30（土日祝・弊社休業日は除く）

製造業者: Winner Medical (Huanggang) Co., Ltd.

ウィナーメディカル（フアンガン）社

製造国名: 中国